

蟹江町立舟入小学校だより

すくすく 学習発表会

No.106

11月14日（土）に学習発表会を行いました。今年、どの学年もソーシャルディスタンスを確保し、学年によってはフェイスシールドやマウスシールドを着用するなどして飛沫飛散防止に努めながら発表しました。発表内容は、これまでに学んできたことを劇、楽器演奏、プレゼンテーションなど複数の表現方法を交えながら構成しました。昨年度までの劇を主とした発表ではなく、新たな表現方法を加えたことで子どもたちの表現力にも広がりがありました。これはコロナ対策の副産物となりました。

事前に行った校内発表会で他学年の発表を見合ったことで、互いに刺激を受けて、さらに良い発表にしようと頑張ってきました。子どもたちは、新しい学習発表会にチャレンジできたようでした。



5年生 「セロ弾きのゴーシュ」



1年生 「It's 笑 time」



3年生 「三年とうげ」



2年生 「まねし小僧」



4年生 「プラスチックのうみ
～わたしたちのSDGs～」



6年生 「平和な毎日って何？
～戦後75年を迎えて～」

体も心も強くなれ～with コロナ～

愛知県内でも新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。校内においては、マスクの常時着用・手洗い・消毒の習慣化など予防対策の継続と強化をして過ごしています。そんな中、子どもたちは体づくり・体力増強のため「走ろう会」に取り組みます。当日に向けて、子どもたちは「ペースランニング」を頑張っている。外での活動ではありますが、飛沫感染対策としてマスクの代わりにバンダナで口元をカバーしたり、密を避けるためにスタート位置をずらしたりするなど工夫をして取り組んでいます。

地域のみなさまにおかれましても、第3波にのみこまれないよう新しい生活様式に沿って健康にお過ごしください。



「コロナ減の対策」
～保健室前の掲示物より～



「走ろう会」にむけて

読書は、心の栄養

日頃、子どもたちは、どのくらい読書の時間をとっているのでしょうか？
学校では、火～木曜日の始業後10分間の朝読書タイムがあります。休み時間や給食を食べ終えた後、読書をして過ごす児童もいます。また、ボランティアの皆さんによる「読み聞かせ」では、真剣に聞き入ったり、笑ったりと内容に引き込まれている子どもたちの表情を見ると微笑ましく思います。

「読書（本）は、心の栄養」。読書は、たくさんの言葉に出会い、想像力を高めてくれます。文章や会話の表現も豊かになり、知識だけでなく、知恵も豊富になり、世界を広げてくれます。本との出会いは、子どもたちの心だけでなく生活にも潤いを与えてくれることでしょう。

現在、学校の図書室は、電子処理システム導入と書籍整理作業のため年度末まで使用できません。そこで、子どもたちが少しでも本に触れられるようにと、町図書館の本をお借りして、ミニ図書室を開設していますが、冊数に限りがあります。町図書館には良い本がたくさんそろっていますので、冬休み中の利用をお勧めします。



全集中で読書